

(又) ヨハネの福音書 15:14 わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行うなら、あなたがたはわたしの友です。

信仰を持つことは、決して裏切らない、あなたを愛する真の友である、イエスを得たことになる、最高の幸がそこにはあるのです。

次に「優しい妻を得た人は、その喜びを共にしよう」ですが、この妻weiblは女性一般を指していると思われます。241小節で優しい女性は楽園にたとえられていることで、「その人は天の楽園(天国)とこの世の楽園(教会それは、神の家族が集う愛の楽園)を得た」、その天と地上の楽園で真の友のイエスに愛され、神の家族の友と共に愛を育む喜びを共にしようと解されます。もちろん、文字通り優しい奥さんを得た喜びと解することも出来ます。

#### (5) 277小節

そうだ、たとえたった一つの魂であっても  
 自分のもと呼べるものが世界の中にあるのならば！  
 そしてそれができないものは、そっと出て行くがいい  
 涙しながらこの集まりの外へ！

「そうだ、彼は地上でたった一つの魂(それは、父、御子、御霊の三位一体<sup>8</sup>の神の第三位格の御霊、聖霊を指していると思われる)を得たのだ」「そして聖霊を自分のもと呼ぶことが出来るのならば！」キリストは十字架に架かれ、3日目によみがえり、今は天におられます。しかし、天に昇られた時、キリストを信じる者の心に、聖霊を与えたと聖書は教えています。聖霊とは、信者の心の中にいつも内住し、信者を導き、教え、力づけるものです。

キリストを信じる者は、聖霊というたった一つの最高の喜びが与えられると言うことです。

「それができないもの」とは、神を信じる事が出来ない、つまり信仰が持てない人々をいいます。なぜ、信仰を持てないかと言うと、様々な理由があると思いますが、まず創造主なる神そのものの存在など信じられないと言う方が大半であると思います。非科学的だと思われるでしょうか。また、「自分に神は必要ない、自分の人生は自分で考え決めて行く」と創造主に従うことを拒否してしまうのです。そのように神に従う道よりも、神は信じない、神に従うことはしないと考える者は<sup>9</sup>そっと出て行くがいいと、シラーは語っております。

「そういう人々は、友と友の輪から涙してそっと出て行くがいい」と、歌っています。随分冷たい感じもするわけですが、しかし、ここはディミヌエンドとなっており、世俗的な欲望に固執して涙しながら集まりの外へ出て行く人にも、神はあわれみを与えているように思えます。神はそのような人々も、悔い改めて、神を信じて、聖霊をいただくために、輪に戻って来る人々にも、愛を注いで下さっているのです。

これは、神のあわれみによる和解を意味しているのではないのでしょうか。対立していた者同士に神が和解を与えて、互いに友の輪に加わることを意味している、それゆえ、この曲が、ベルリンの壁

<sup>8</sup> 真の神は「三位一体」として聖書に教えられています。本質は一つですが、三つの異なった人格を持っています(マタイの福音書 28:19)。神の奥義(ミステリー)で人間の理性では完全に把握できない。敢えてたとえれば電気・熱、力、光。しかし、これは同時に存在できないが神は三つの位格(人格)が同時に存在する。

<sup>9</sup> イエスキリストは、マタイの福音書 5章 39 「あなたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。」と教えました。これが出来る人はいません。キリストに折って聖霊の力で出来るように、クリスチャンも日々闘っています。